

番匠町家雛形

上

小倉文庫

イ 16

875

1

60

55

50

45

40

門 116
號 875
卷 1

浪蕪 十一堂著述

番匠町家雛形完

往昔より匠家使用の書教編子 飛板をり能
しと角割りの法とて来りて漸り十一堂の
多年是と習ふとく一人一人紙類とて人
びて世にもし求く二巻とて澤山と云なりぬ

序

番匠乃書教多有也之も角割の法也
美術の角法を之書此物もあつて是を
愁る事あり今也憤懣の餘里其固
漏と日暮者先師相傳の説を輯録凡町
家他此書をくせおと伏地若場に及ぶ其本
割分一全巻の法とてりり各付て番匠町家



昭和二十七年
六月二十一日 受入

離歌や号一工學此流小使たよりをせんたよりとひ
又及くわい播雲くわい堂どう塔たつといふを世理このりは係よりく学まなひハ
其その若たがりさるに述ちかん乎

的初六巳世年一孟春望

十一堂廣墨保教識

毒匠町家離歌 目錄

雜他扣凡三百餘有中

- 一四方回西見物仕換 一志の五物四川毎仕換
- 一三方之々仕換 一上下定物取附仕換
- 一貳枚釣見世一西仕換 一釣込物一西釣仕換
- 一小間返手遠組仕換 一母屋守物扉扉仕換
- 一分一金其本別仕換 一角金友素立仕換

一 新造地凡之宅取仕換

一角木業之角金仕換

一 登中取當仕換

一同其本割取當仕換

一 登組手引金蓋中當換

一 四方もわが物宅取仕換

一 五角割角金之仕換

一 六角割角金之仕換

一 七角割角金之仕換

一 八角割角金之仕換

一 九角割角金之仕換

一 十二角割角金之仕換

以上

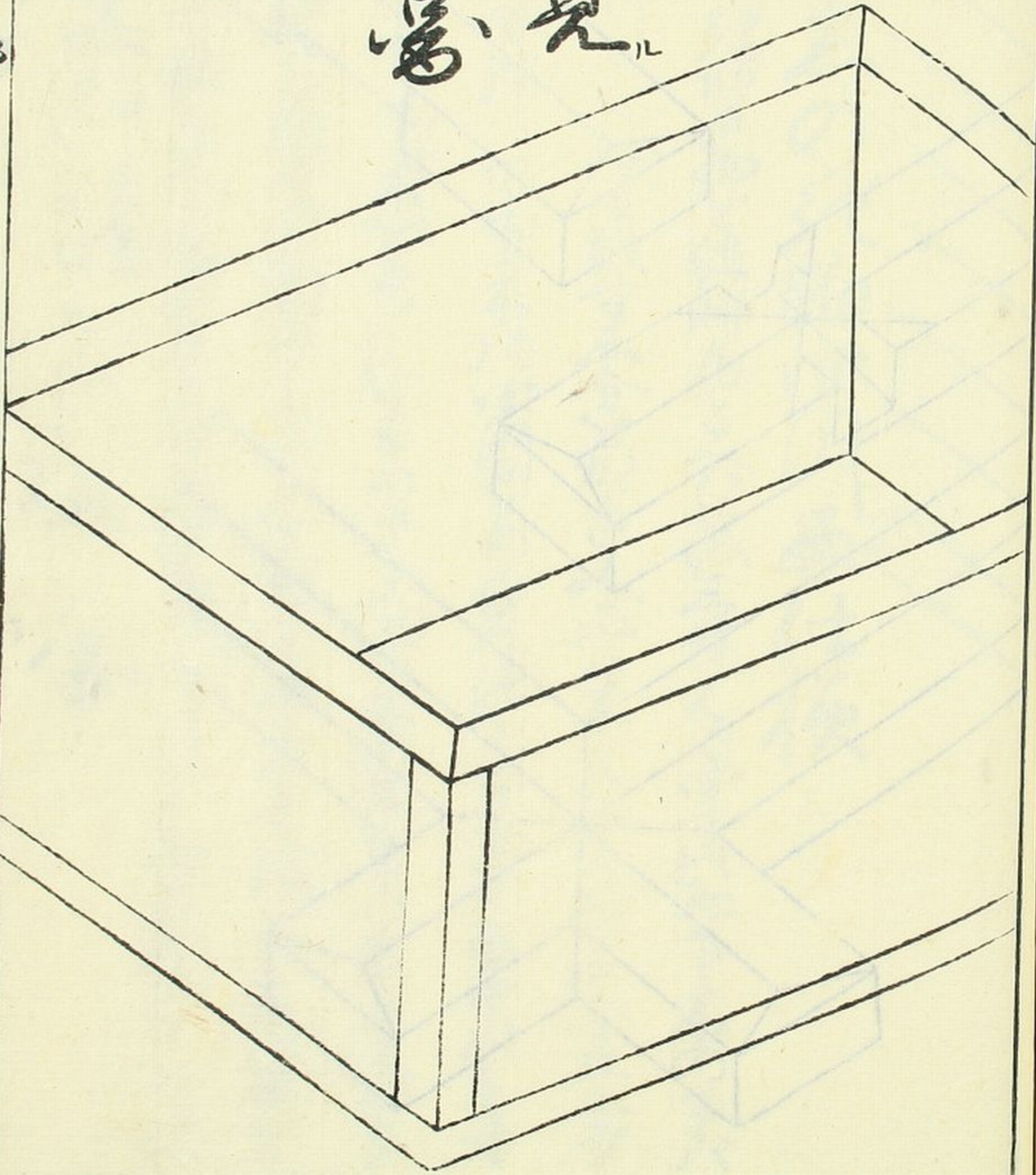
四角化糖がま仕換

一 柱四角少てがま改入時ハ糖シロ此コ廻り少てハ糖シロ海りウミ等ナハ
 仕換いたとハがま長ナ寸シしてこコにてを寸シ定サ分フ此コ金カネちチひヒあアるルハ
 先マめメ本ホ北キ南ナ少シてテ何ナニかカのノおオろロ七シ八ハチ分ブンなり本ホ口クチ又マタ十ジュウ文字モジ同ドウ遠トウ
 厚アタがカまマれレこコたタけケぬヌこコハハ分ブンむムかりカリ何ナニをヲ又マタおオれレ本ホかくカク此コはハ
 くにクニいイつツのノまマにニまマぬヌおオてテまマとトめメをヲおオれレ本ホとトりリ
 とめトメやヤいイこコ

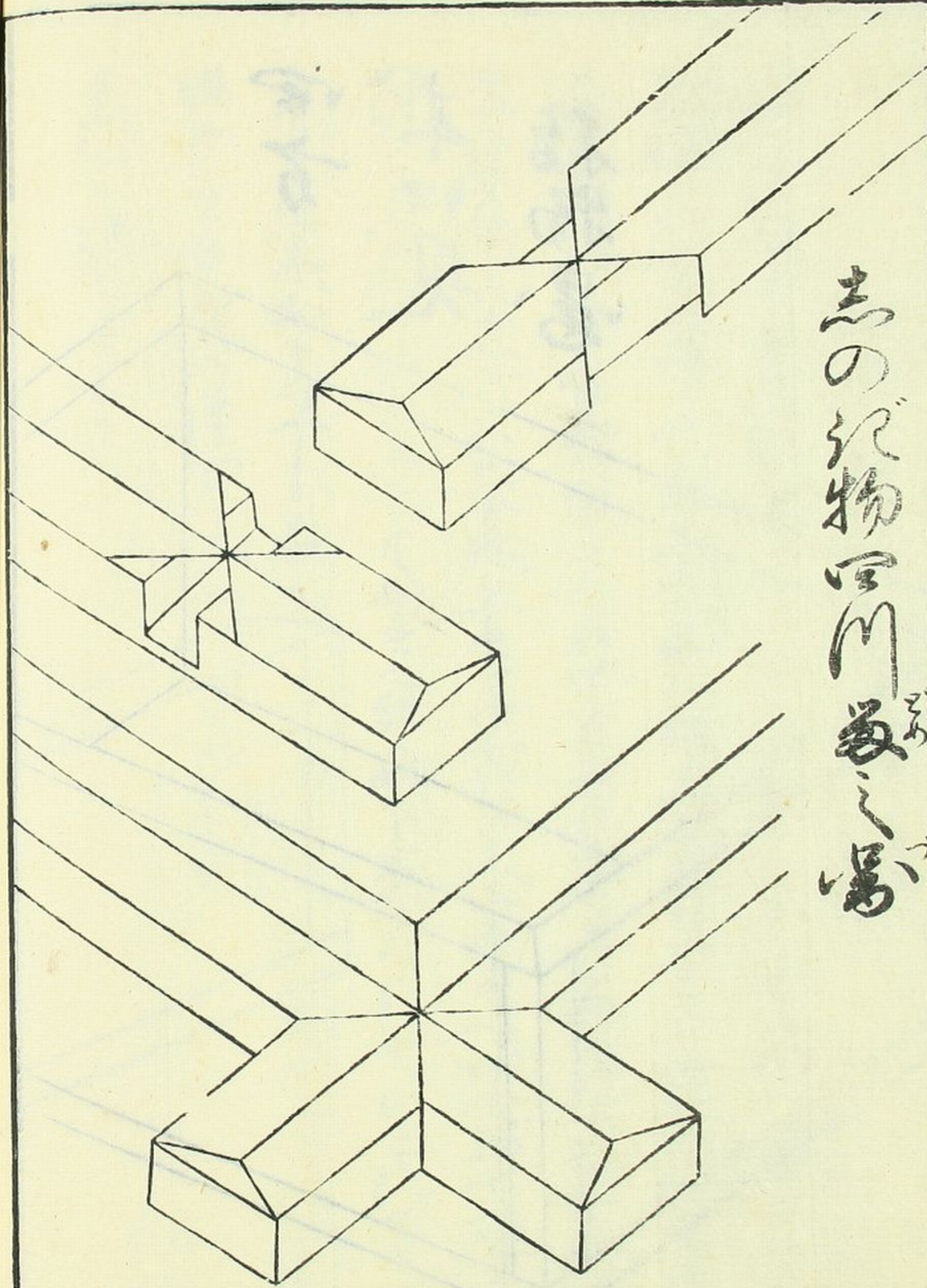
四方本口見指物仕様

一世弓に四方本口の指物と云ふこととおしめて紐のかき廻りてを
 雅他と云ふはつと紐又六毎に致し時をありやいおの外竹丸を
 南五角一切を有とお同くお四方本口と云ふ六毎に致し時た云お
 ちの寸なるは是下本六分上を寸五分かた又上本を寸五分して六分
 肉と云ふことあり外上下を有と紐の時下本をそしてのまに云お
 小のものを本おとす一お
 紐とおせ有とおはり程と
 丸く紐と云

四方
 本口見
 指物



志の物置川敷ごめ場



志の物置川敷ごめ棟

一上を志の物置のおと組付たと六せい三寸ごめを中下木のトバ
少て七分のこ計のこしく計る或寸三分をかし又上本三寸を寸五分づ
かし中を寸計して下木此間をあて法に五分づあ中れを寸
をまりんをぎ下木をさしよめる又上本れせの下少て七分を
を中下木の間に五分を寸五分づこうを中下木を寸五分づ
すまあして組又八分をそ外切上はらせらるおおのこをりれ
組おがよく人

四方指鴨子組独拵仕換

一たより四方より此上六にひるのあぶらねやう絞の時独拵仕換
をきす厚八分此時下本此組で三ウ二ぶん多し一ぶん又上本
目一ぶんねくろを此下バ一ぶんやどをまやうくねくやりて
下本を二ぶんあめのおちふ上本を二倍をさうこをねすう一長
いう一あぶらねをねく一うちこみたまるあぶらねをまや
ひねまじりまじりうぶねくになりひらやをさて上本のあぶら
切く

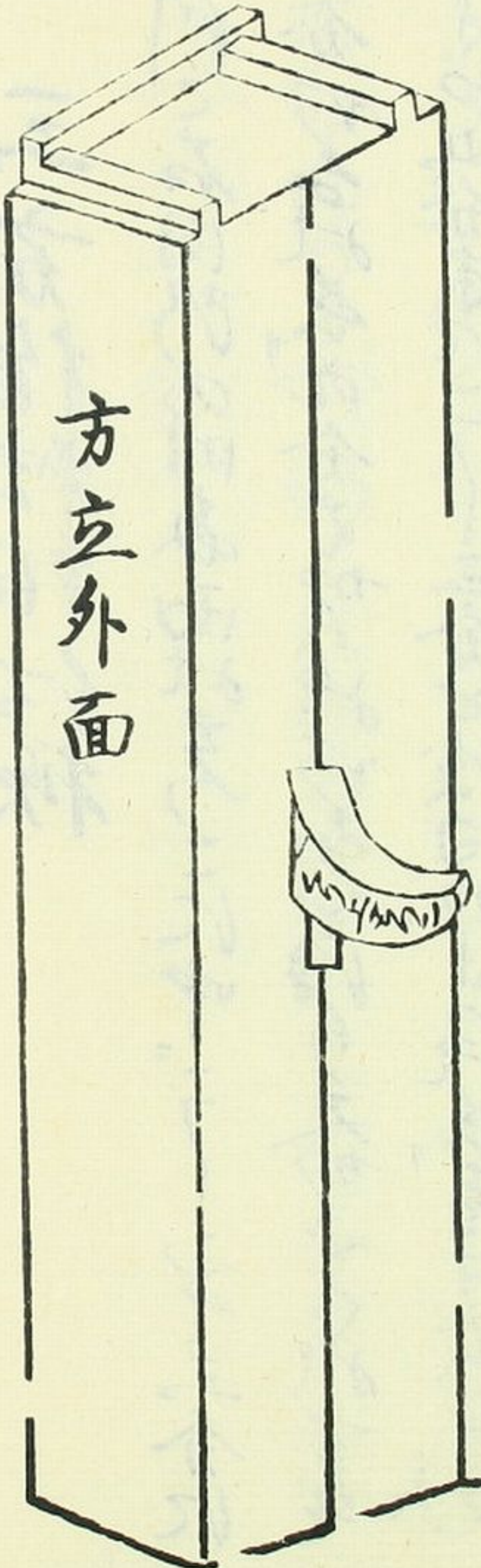
三方指独拵仕換

たとひ三ウを右回りの時毎西此三ウの中にう一少て三分に
かゝら五分のあぶら九分をかり此のあぶら又かゝる此のあぶら
三ウ此かゝら五分をねく一一分を絞回りのあぶら三ウをかり先
かゝるねく一少てねくあぶら少くねくやり三ウのあぶらも五分なり
おん本此かゝら五分を分まねくねくねくねくねくねくねくねく
おん本此におしじえ合海一組をちかぶせんおん本に
おん本一又おん本より三ウのあぶらねのあぶらねく一

上下定する所を以て付る方立と云

仕切板外面
方立外面

人見物外面



上下定たる所を以て付る方立仕切

一た之の方立を以て付る時柱の方立せんなりが以て付るを以て下の方立を
 以て方立目らびをぞと付上る方立の中足合なり上の方立に以て以て
 中の右なり上の方立に仕切板を以て付るなりこの中をあふ入り上をぞと
 して地みけだを以て付るなりと云ふにやと云ふにやと云ふにやと云ふにや
 うと云ふにやと云ふにやと云ふにやと云ふにやと云ふにやと云ふにや
 少ぬくははらにやと云ふにやと云ふにやと云ふにやと云ふにやと云ふにや
 以外上下に以て付るなりと云ふにやと云ふにやと云ふにやと云ふにやと云ふにや

入口大戸三ツ返仕換

一戸と六戸をむくれば又上りのみは川舟に就時先下れとて又此戸の
 へこまをすして車付に就戸のやまかまち又もよる小てをすれば
 に後人おれかまちあてぢくまりる之下れとて又に金おとゆせやみ
 をすめらば是等田共分のまんえ又けをありよらるゝ上り六三分
 下りてより一上のとさみもねの毎り致金お右日乃又をすれば
 かつて是もまたに上下たせま金おあり右金おをけし一せしと
 右のぢく金おいぢりて又上り小致人時の上のとて又此六に方算の
 やぞまたりかゝるべのせんあをせんぬきて上のとさみとせよ上り

せん入りのくみれぢくおは法があるは金お又とさみの内おの法がと
 同ぢり金お入右のがち金おと法がせしてけりた後人そ外三返
 又のせと上りてはけいひの上り右の法も仕換三ツ返もまき

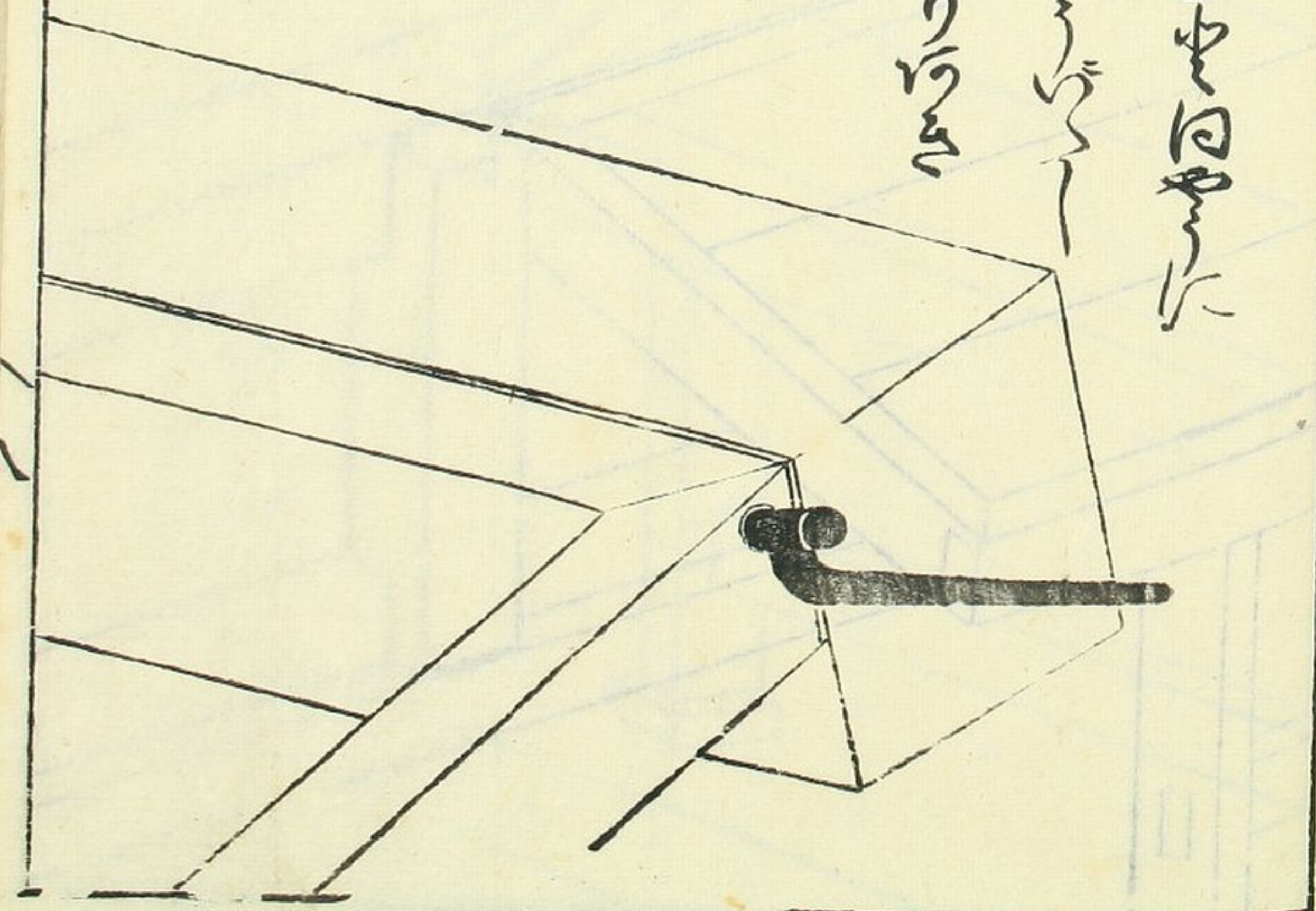
六分袋を三ツ返仕換

一戸ぢりおせの時のり上りたるとかよそそれ方のたくみ上りおは
 ろうぢりおそいほ上り金おまんこ之物小金おあつと三分又
 六のまりりるる三入のまり物お金おまんこをす三分お六ぢり
 又法が六七分おてし

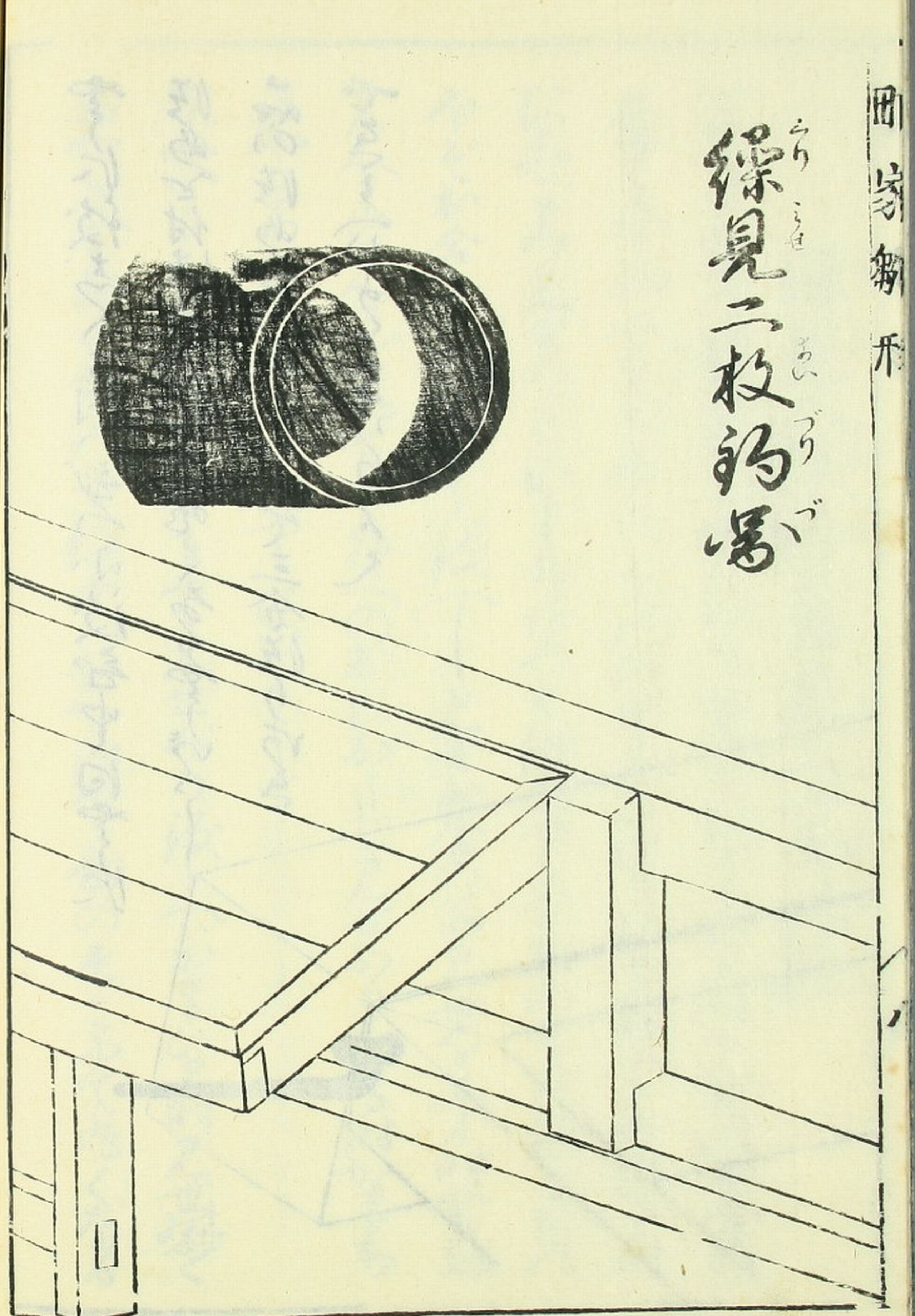
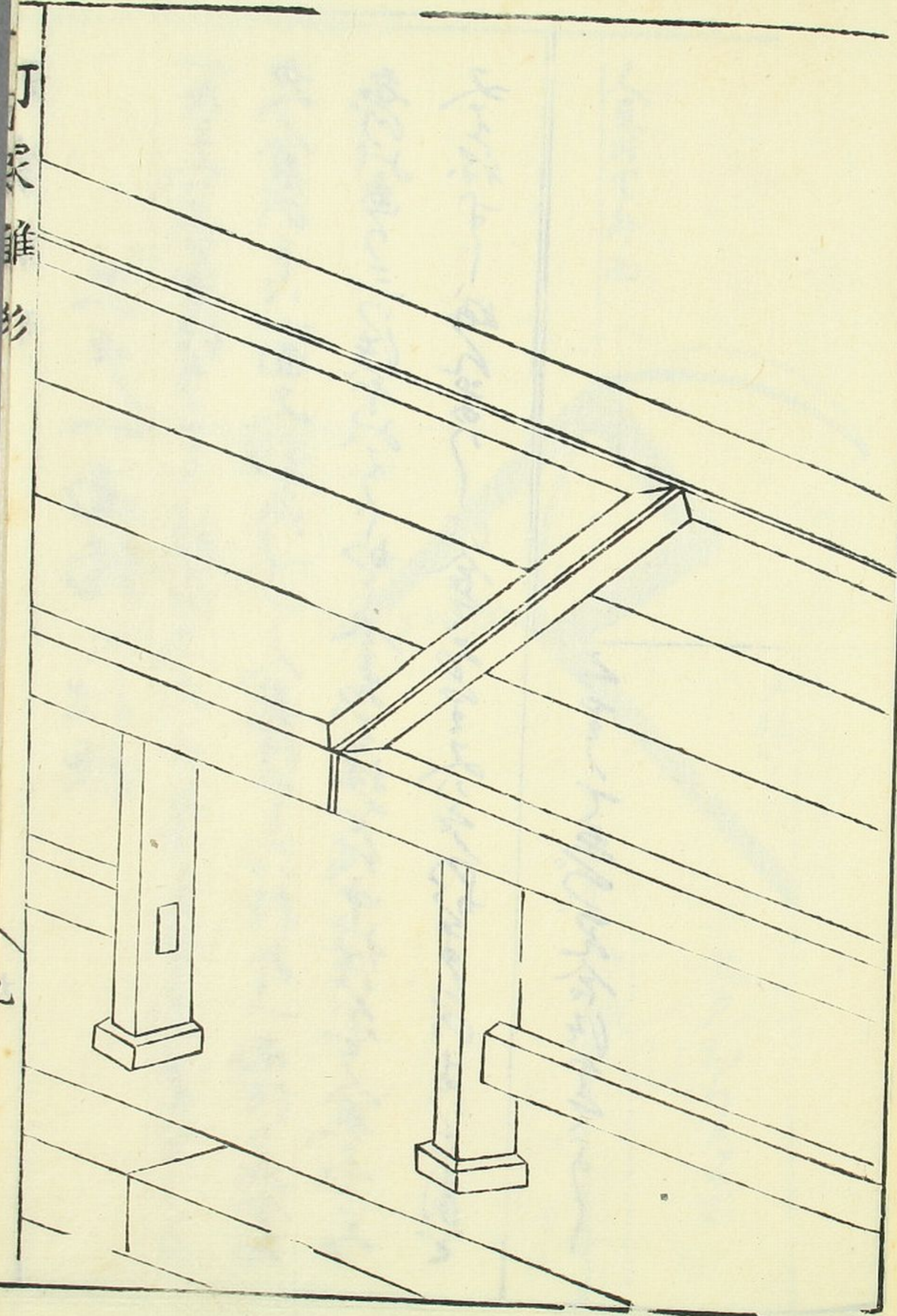
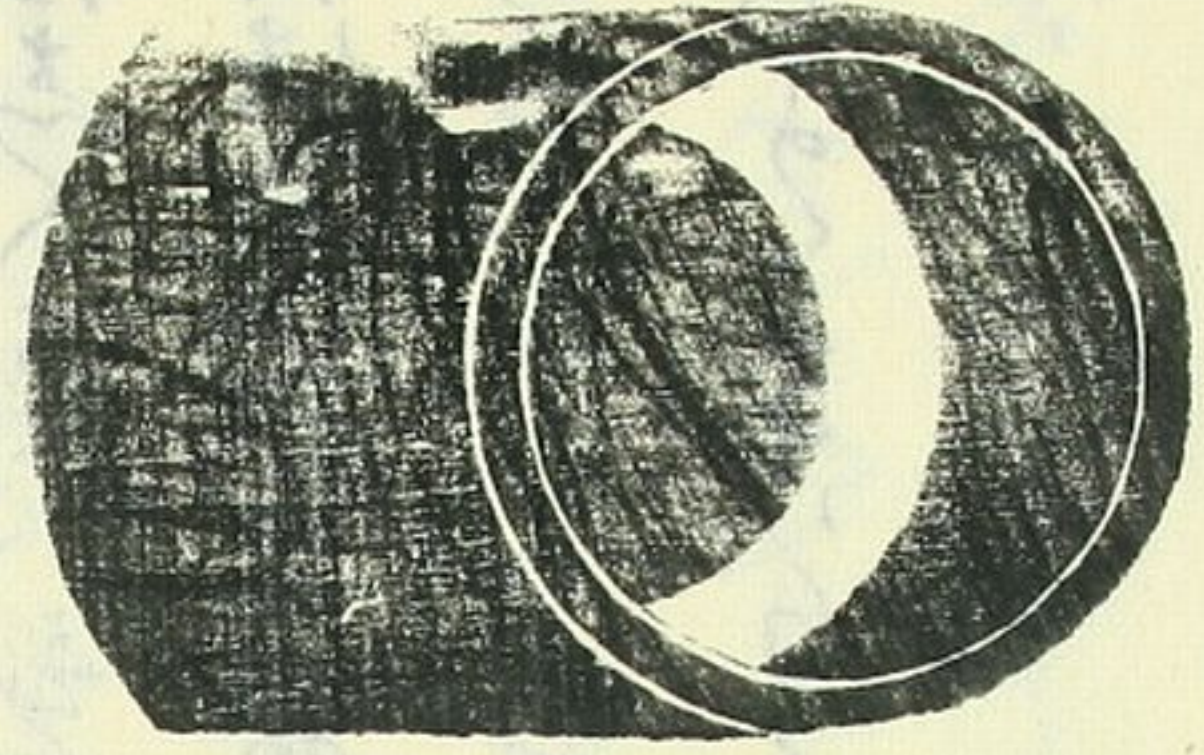
採見二枚釣者爰上一面釣換

一、つり世二枚付合中、にづりあ、い、る、付、人、付、先、中、此、お、合、の、
 志、く、合、お、二、重、と、志、く、は、う、れ、の、ぞ、合、に、て、ほ、り、を、合、お、毎、日、れ、
 に、志、く、み、見、世、の、よ、こ、か、ま、ち、ら、ら、く、後、志、く、合、お、の、そ、こ、に、お、ま、ち、れ、
 や、ぞ、お、合、中、に、志、く、人、中、に、後、一、見、世、お、合、の、お、見、世、と、上、人、付、合、お、
 見、中、い、お、見、世、お、す、あ、外、の、お、に、お、じ、見、世、お、り、た、ら、付、か、ま、ち、
 合、お、あ、外、の、お、ま、り、は、お、う、に、い、う、と、し、
 一、お、い、と、ま、上、志、く、三、分、下、志、く、見、世、づ、り、後、く、ハ、お、の、い、中、付、見、世、お、
 志、く、合、お、い、お、い、小、後、中、志、く、お、の、お、の、そ、こ、お、て、お、く、お、る、

お、い、後、志、く、も、付、く、お、い、小、後、お、の、お、お、い、
 ほ、め、と、付、ほ、め、お、い、お、て、お、く、お、る、お、い、
 お、の、ほ、め、お、の、お、い、お、お、て、三、分、ほ、り、お、い、
 お、い、お、い、お、い、お、い、お、い、



探見二枚釣場さし見

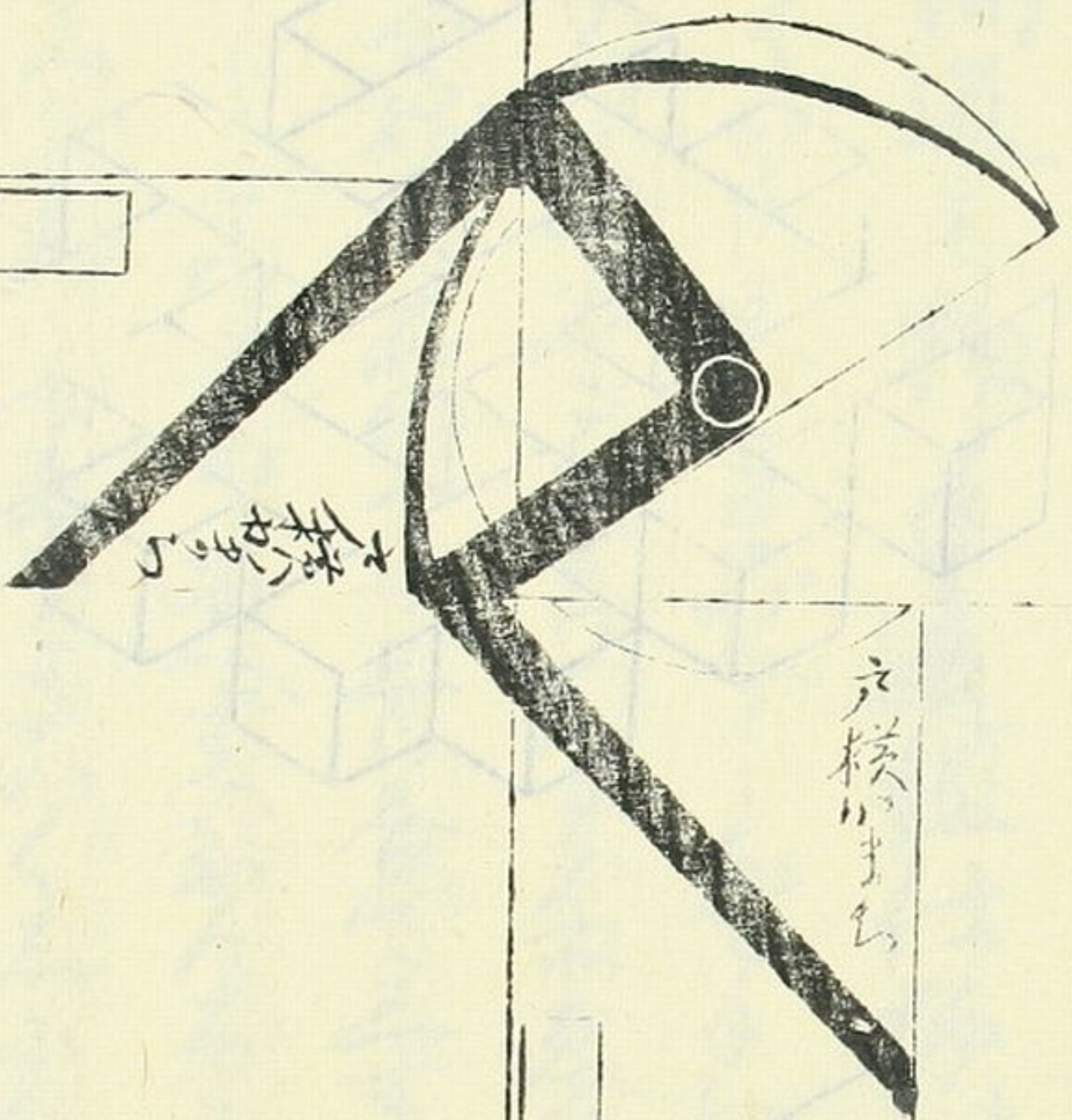


上戸一面釣く仕極

一たより上戸世法りこそは絞射上より六戸を寸三分下で見るべくも
 又人見の戸は一面又お所して人見法中又六柱外一面法りお金お
 急のれ過り三法がれもどかき金おを細を付中法がを人見より二
 又と縁すいぬまりい金を室又六戸のかまらのまわり角を

くらしてあづが足合法をさし

人見法を外面



六柱がすし

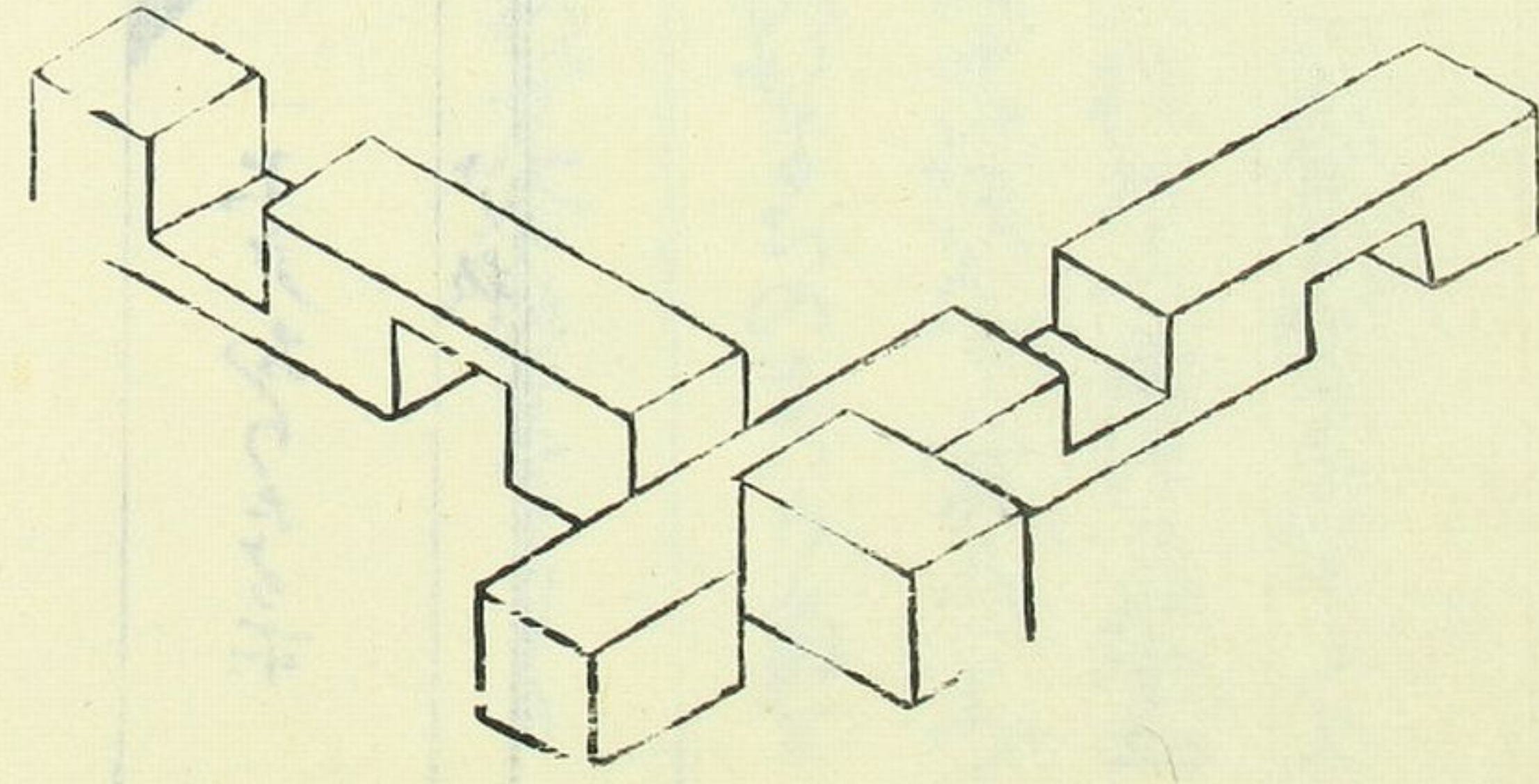
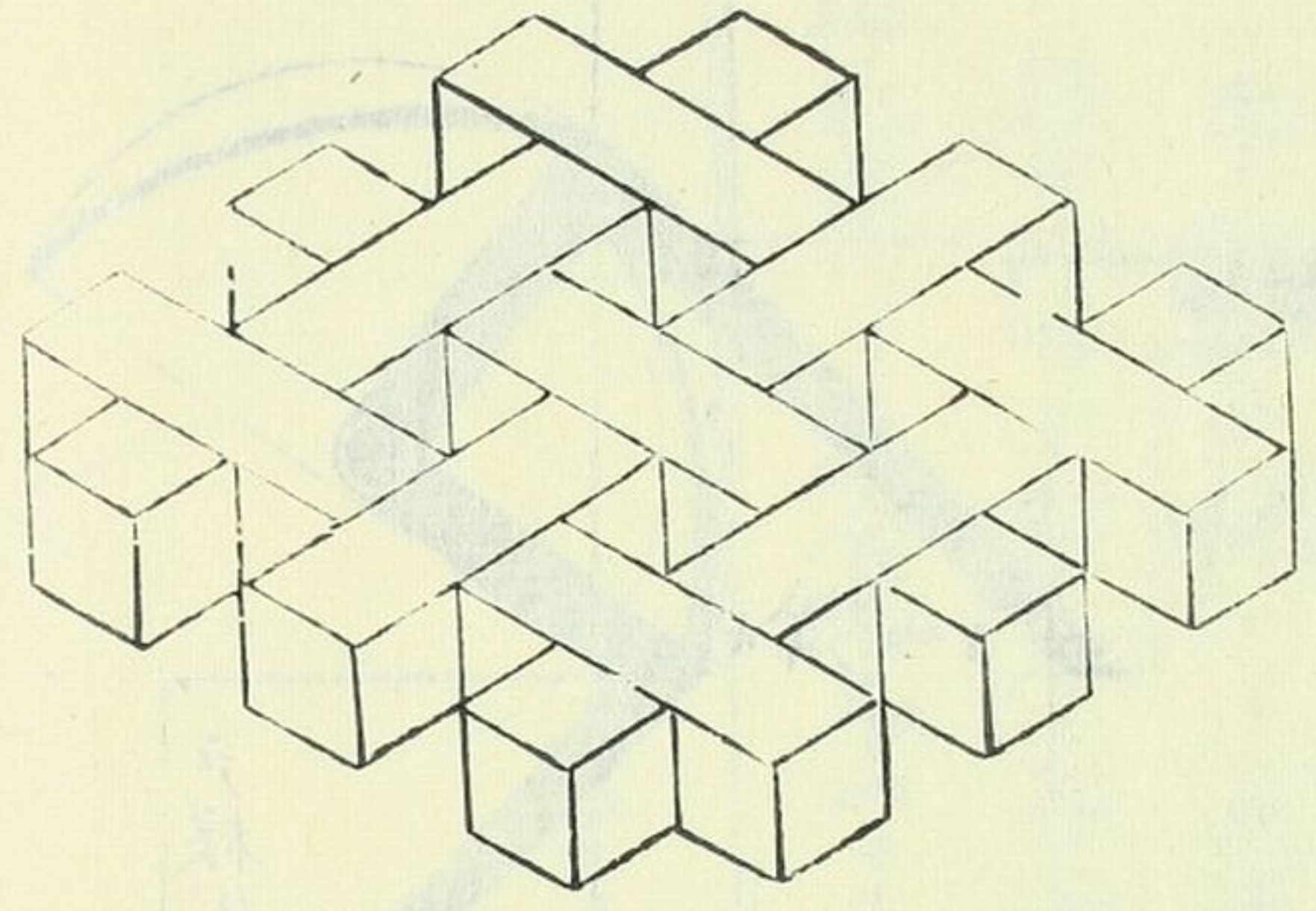
上戸ありたる事

六板

上戸ありたる事

六板

小間返之物手遠組番

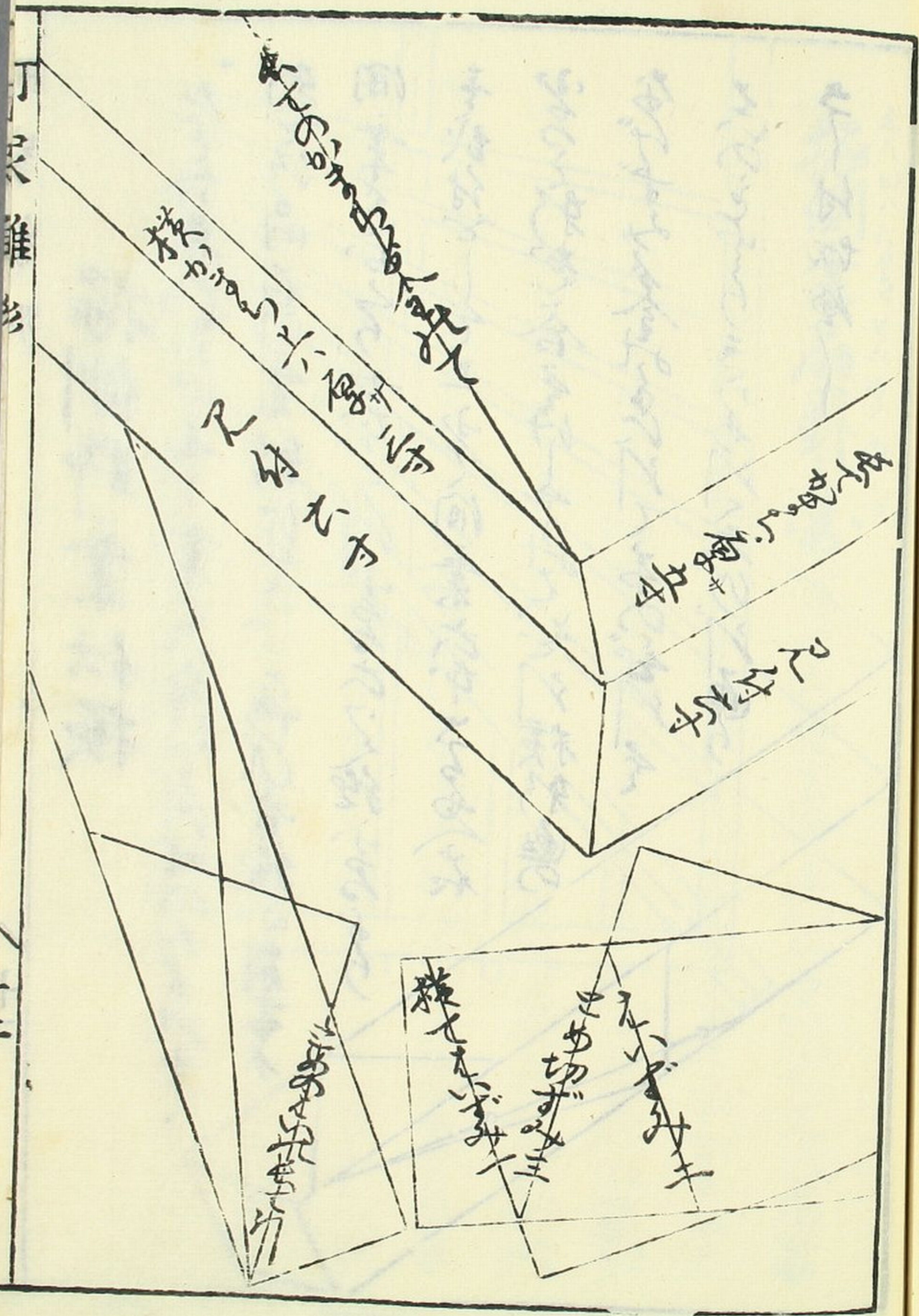


小間返之物手遠組仕様

一ツのハぢぢぢがしつ六二まがーもどちらひ小紐時たふ守
 守角南右ちらひいそとまらりあり示急の紐通り守角を紐
 て紐かきま守紐の紐のます二守角を二守角の紐合の
 二本はかさう一みとあもすいあん本はけりよゆしく後
 へまへ紐のみこあへまらとまらふらう一ましまらう久
 すいあんういし紐人へ

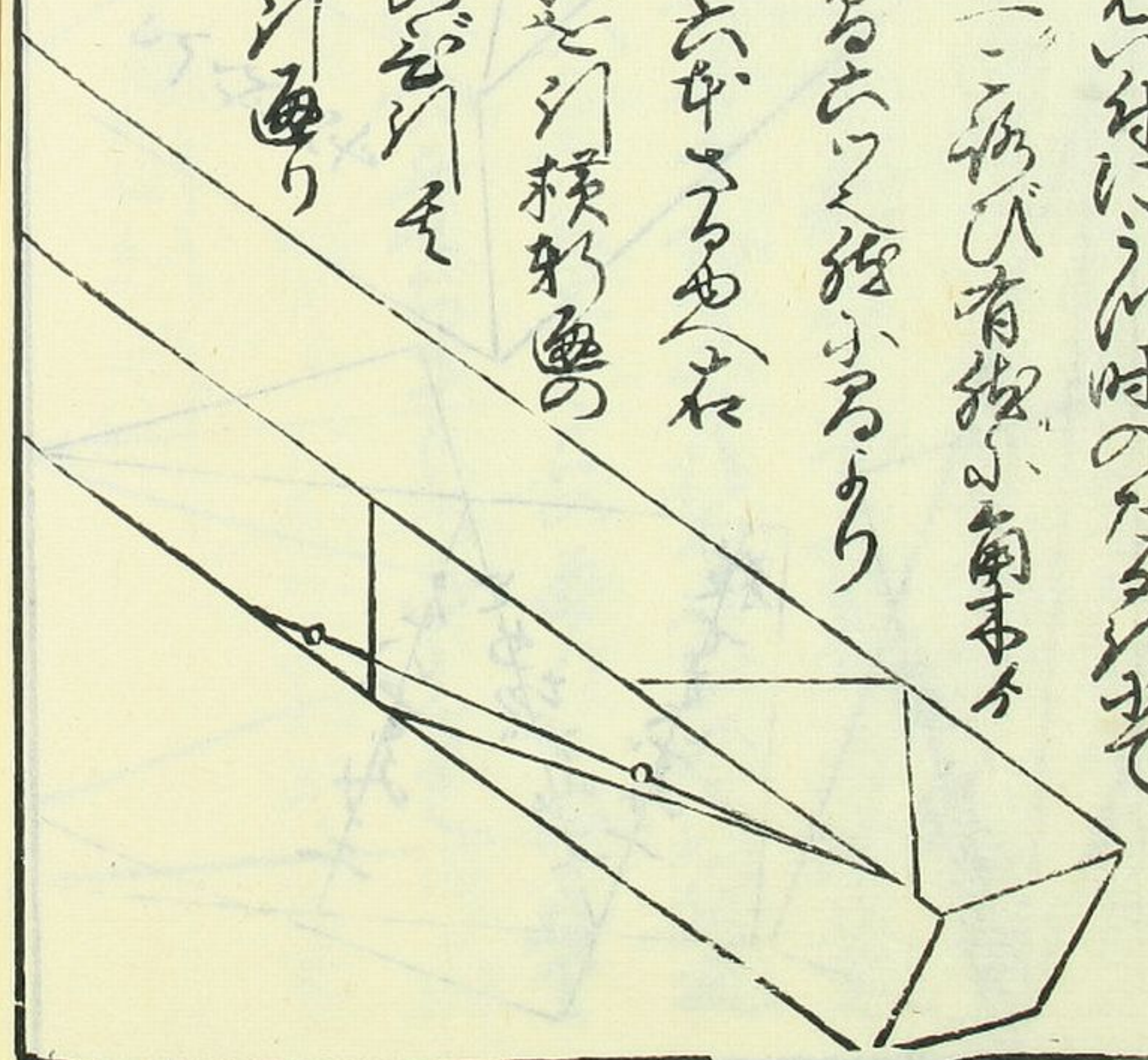
上櫃二振物分つ金を換

一、夫れ分つ金を本割の六はきき或は八寸横六寸高の横方或は此
 二、つ合五寸と横五寸横五寸又或は三寸高の横方或は此
 三、つ合五寸と横五寸横五寸又或は三寸高の横方或は此
 四、つ合五寸と横五寸横五寸又或は三寸高の横方或は此
 五、つ合五寸と横五寸横五寸又或は三寸高の横方或は此
 六、つ合五寸と横五寸横五寸又或は三寸高の横方或は此
 七、つ合五寸と横五寸横五寸又或は三寸高の横方或は此
 八、つ合五寸と横五寸横五寸又或は三寸高の横方或は此
 九、つ合五寸と横五寸横五寸又或は三寸高の横方或は此
 十、つ合五寸と横五寸横五寸又或は三寸高の横方或は此
 十一、つ合五寸と横五寸横五寸又或は三寸高の横方或は此
 十二、つ合五寸と横五寸横五寸又或は三寸高の横方或は此
 十三、つ合五寸と横五寸横五寸又或は三寸高の横方或は此
 十四、つ合五寸と横五寸横五寸又或は三寸高の横方或は此
 十五、つ合五寸と横五寸横五寸又或は三寸高の横方或は此
 十六、つ合五寸と横五寸横五寸又或は三寸高の横方或は此
 十七、つ合五寸と横五寸横五寸又或は三寸高の横方或は此
 十八、つ合五寸と横五寸横五寸又或は三寸高の横方或は此
 十九、つ合五寸と横五寸横五寸又或は三寸高の横方或は此
 二十、つ合五寸と横五寸横五寸又或は三寸高の横方或は此

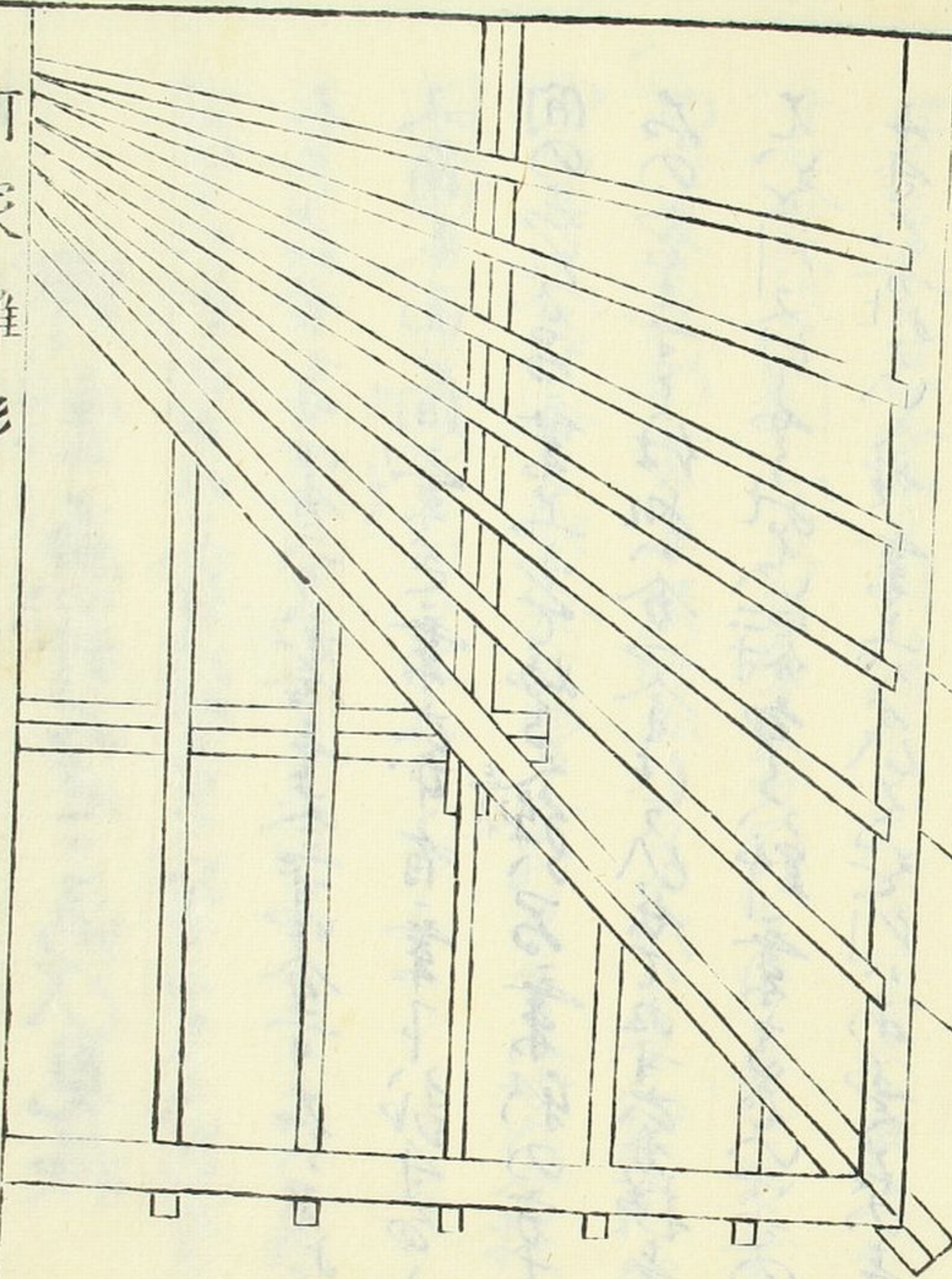


椽側野業仕様

たとふふんがけやう業七の付にうの時のだるんおて
 新と流の時の業新にて二一筋び有線ふ南本か
 同業とさおら七本と山小島六つ之線小島より
 其武付として上少て同業六かさるあ右
 少るも新か合をけやうたんとし横新の
 なげすみふ金たをいけて木のぞりそ
 とののとせり三つあけんあのび海り
 ち付切候



あんかハたるきせんけいのづ
椽側業の解野



野 業 庭 野 之 庭 二 海 び 見 極

一たふ六軒のわねふ守此時をい守少てといのをも入に付七分七リ
三とく右合七守四分二リ教合を大守守分リ右八分八分あるは長け
又角東面分間業と業と中有一業下八分守あるは二とを人守
間の志んも業上少てゆる之強はる業軒の方本は分守なるなり
右の者すすは如か分て全はうひ長て九寸七分横寸七分横寸
といとけ又けゆるは二寸分あり野業もむい守の内少て八分横
寸七分横寸といは野業上八分横寸といは守の内少て八分横寸
分横寸といは野業上八分横寸といは守の内少て八分横寸といは守
の内少て八分横寸といは野業上八分横寸といは守の内少て八分横寸

ちう新く二寸分づのをも又南北のむ少てを大守五分七分横寸といは
にて是守四分横寸といは横寸二分七分横寸といは一分七分横寸といは
寸七分横寸といは守四分横寸といは横寸二分七分横寸といは一分七分横寸
のむすく又野業本は切れはる分横寸二分七分横寸といは一分七分横寸
小るきと守合て二分七分横寸といは横寸二分七分横寸といは一分七分横寸
八分横寸といは守四分横寸といは横寸二分七分横寸といは一分七分横寸

登屋根之水切每切要仕換

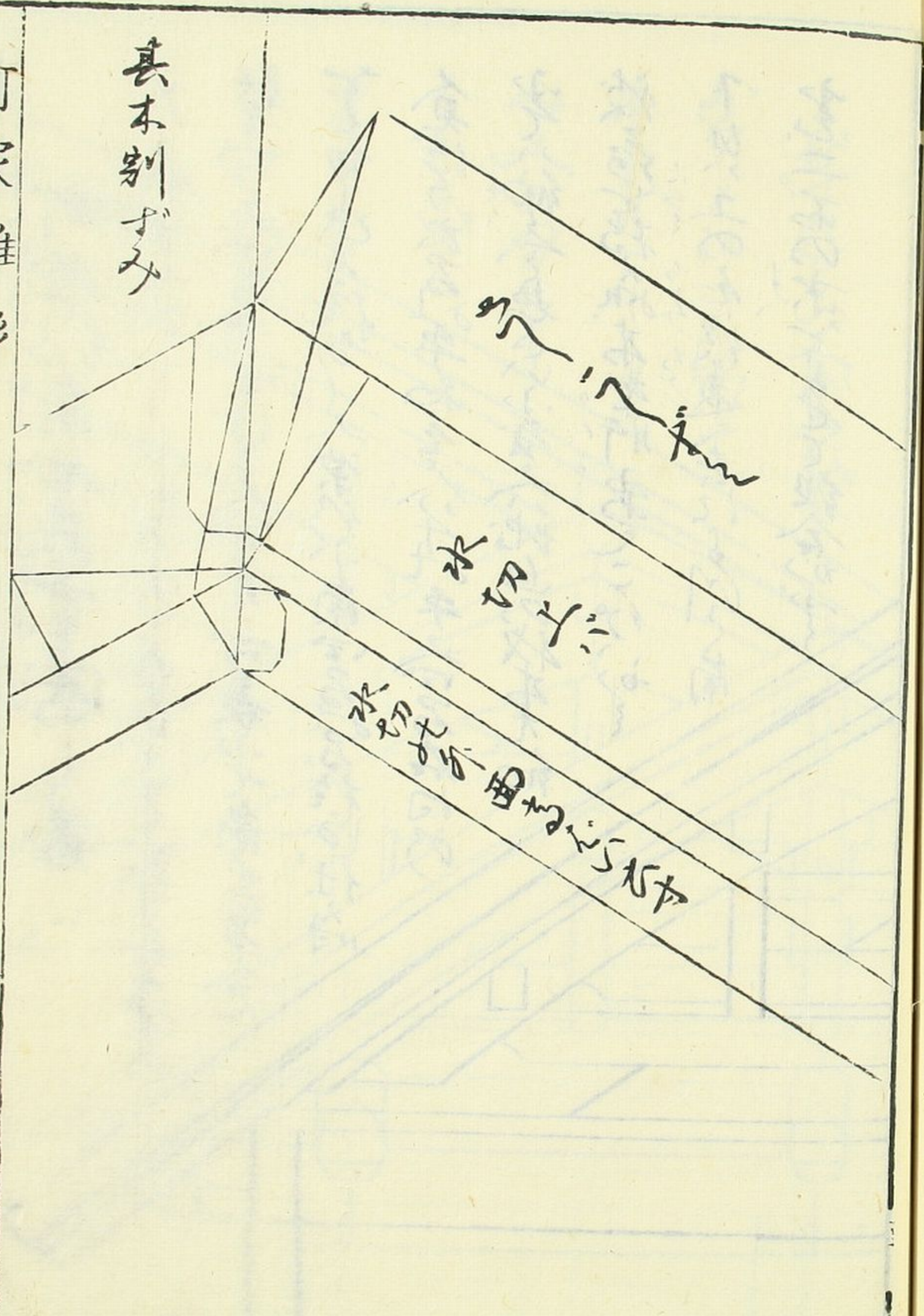
一屋縁のといふ寸さといふ水切寸さといふ在每要仕換ハ
 母せらの魚りたといふ水切の幅を人の肘をの延といふ様で
 八寸九分三厘を八寸右の幅を金を入はるあげといふ每と
 切立水ハ水切厚をき水ありといふ付りざらけて切
 けし又水切上げといふあげ量といふ水切すとい
 の宅といふ付厚すす下屋縁といふ水切
 そばの金をい付上げのき水じうす角
 といふ付切し

水切の要

其本別がみ

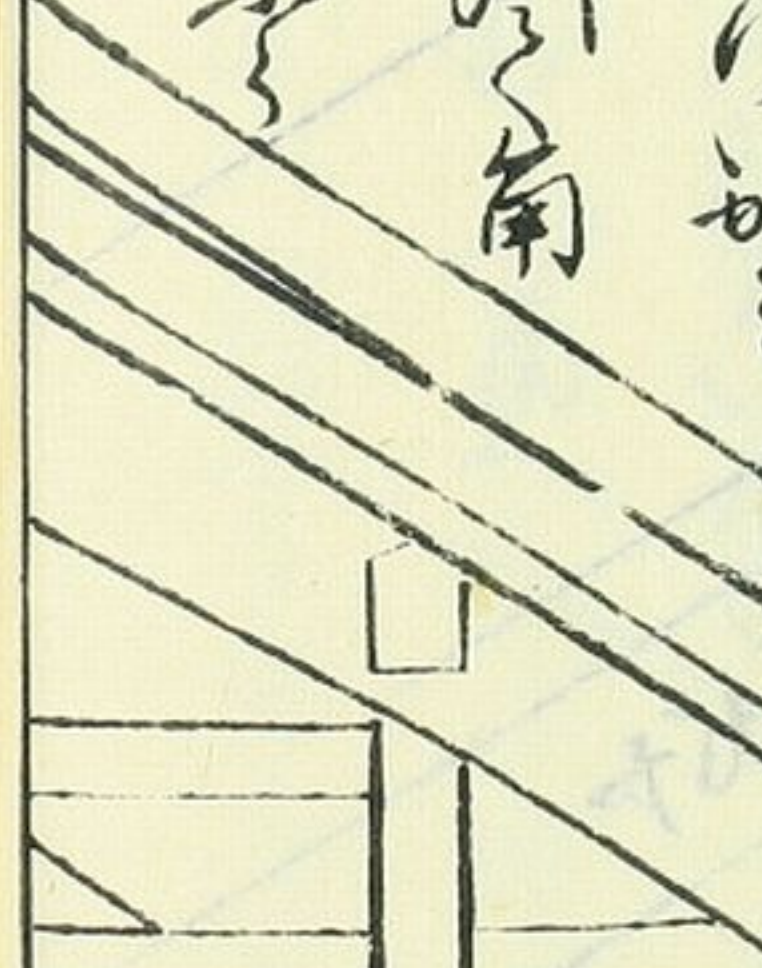
町家雜形

十五

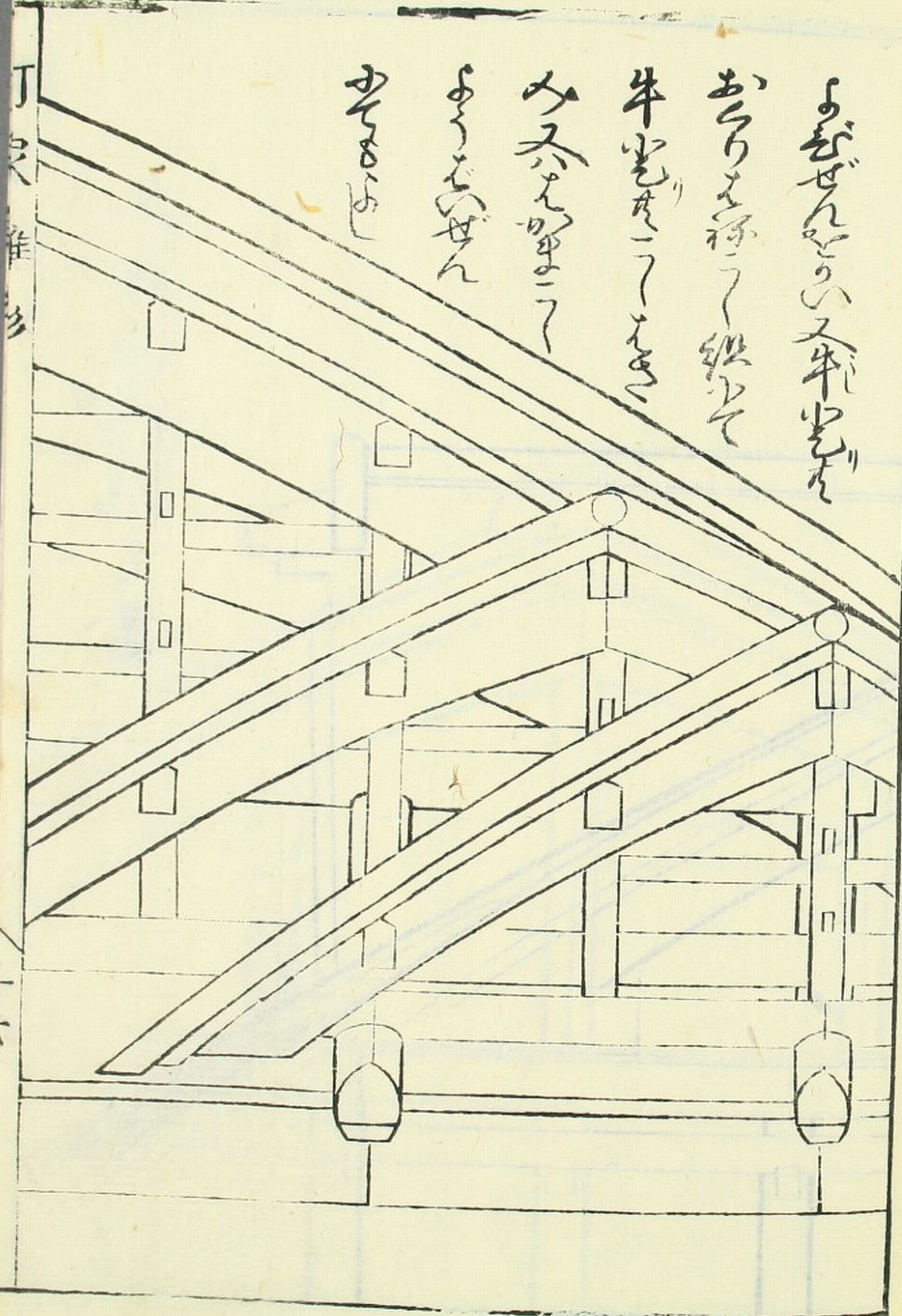


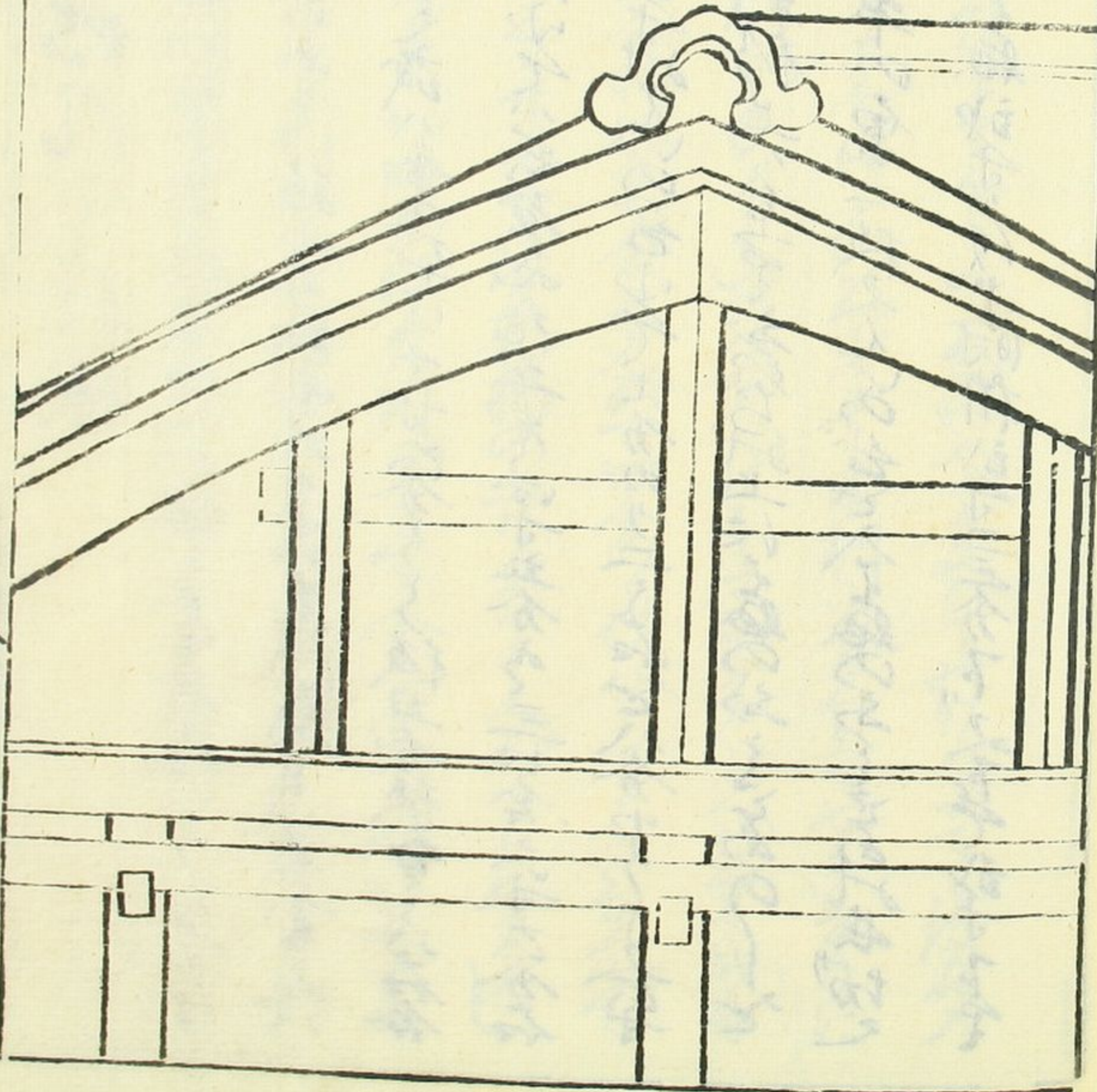
町屋作南屋敷重葺き之図

一たとの梁七間小下屋部を合せて九間とすといふ寸二間梁の
 洗まらう又四間梁を洗まらうとす又二間素少く南を合せて
 とす何ははる指角一又梁は小南宮を合せて指角仕付
 合はせりあるし平和を合せて此平又四間右の
 少く細く懸といふ又地血の材束を細
 波を指角束を折角とす
 下は工の心得遠く去に小間南
 北二間の束とす合せて組合が

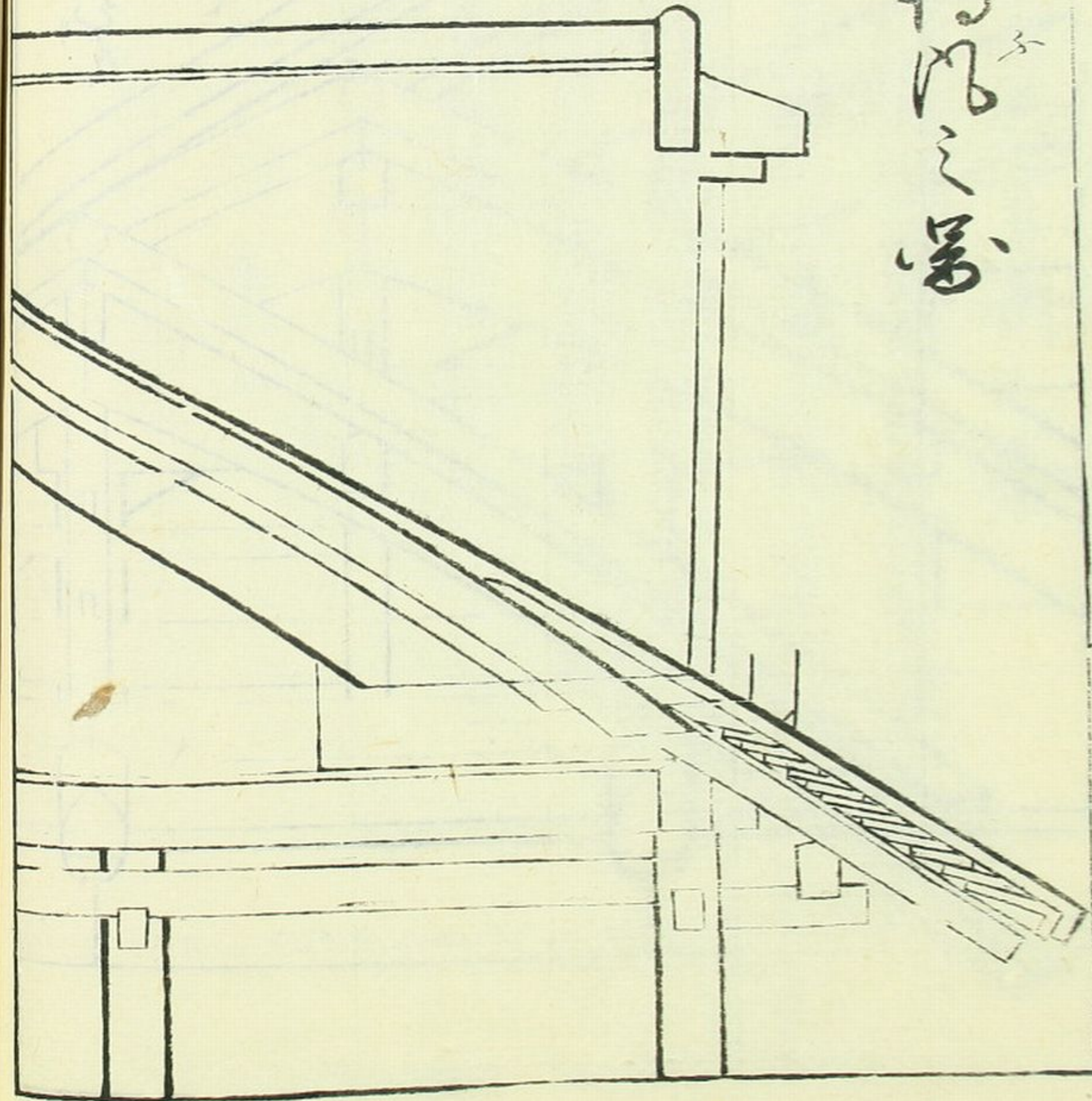


よむせんといふ平坐を
 おろす縁を組んで
 半坐をこつとす
 みよんかまう
 ようせん
 せん





入母屋檼門之形



入母家構凡く仕様

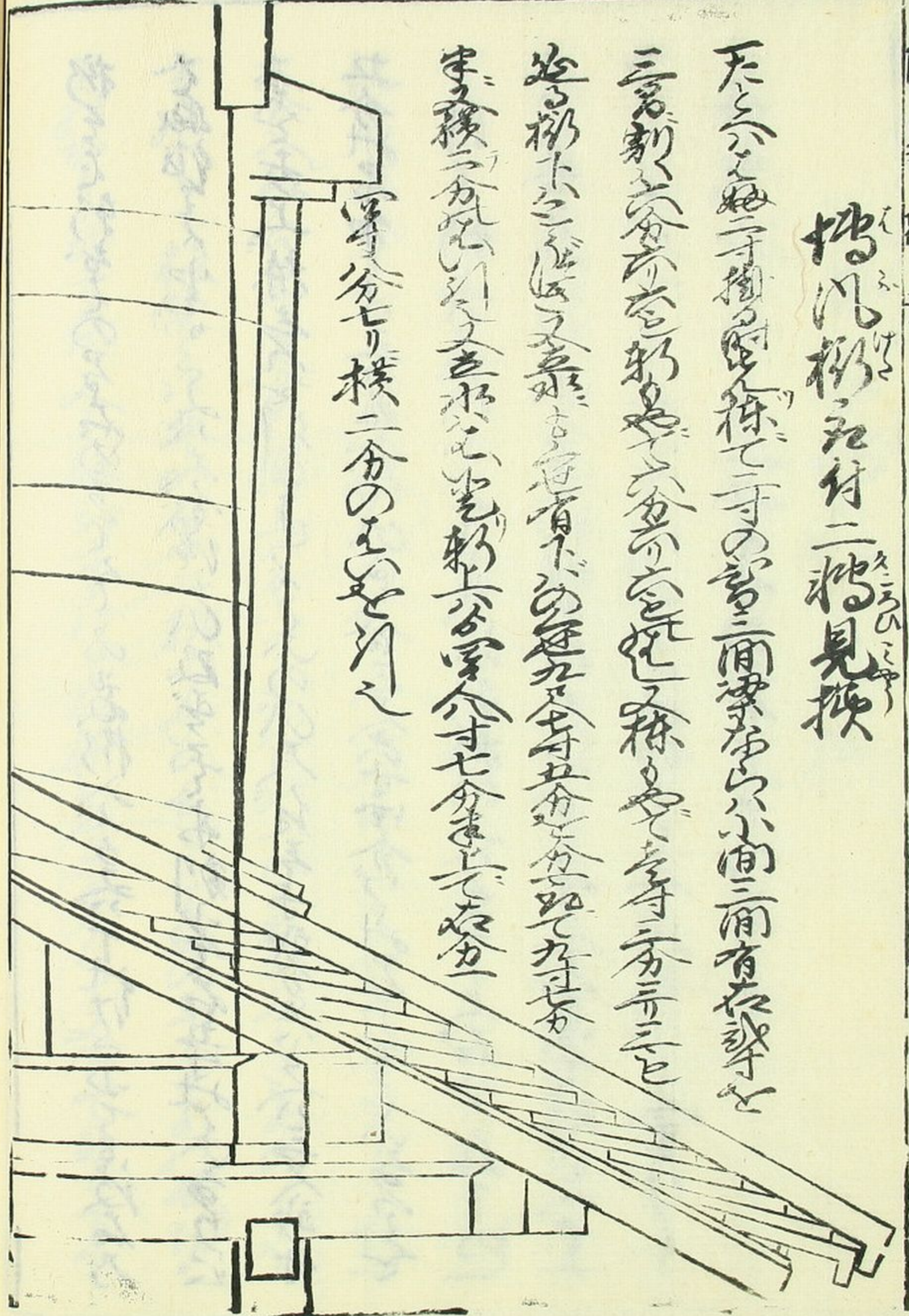
一丈六二寸深れお椀折柄の志んを興外はなす時竹くばり
より二丈二寸の志んよりお椀折柄の志んは先折柄と六寸深れ六
寸板お椀折を引く成ハ重たせい寸分うろ板五寸板お椀折
で守り分又中椀折少くともお椀折五寸五分三合五分分右
にもう一寸分よりお椀折の志ん七分のり二寸おと八分うろ
六分入合七寸分折柄六寸分お椀折の上は椀折の志ん六寸のり
きやう一板より六寸の椀二枚又いお椀の志んを長切
これより一寸分よりお椀折寸かけ中折一寸三分下り又下り一寸分

柄をた折柄の志んを下の椀折六寸五分六下りけりして後右の
お椀折を六寸のり六寸分はし及びお椀折を右折少くとも六寸のり
昔より上椀折の志んを引くは椀折の志ん六寸分はたし六寸分
五分六分お椀の志ん六寸分はひる合を五分五分はしお椀の志ん
うろ折六寸分お椀折の志ん七寸五分折柄の上は七寸五分のり下り
六寸分お椀の志んは五寸五分切柄は六寸分お椀折を引くは
七寸五分のりお椀折の志んを引くは七寸五分のりお椀折の志んを
引くは七寸五分のりお椀折の志んを引くは七寸五分のり

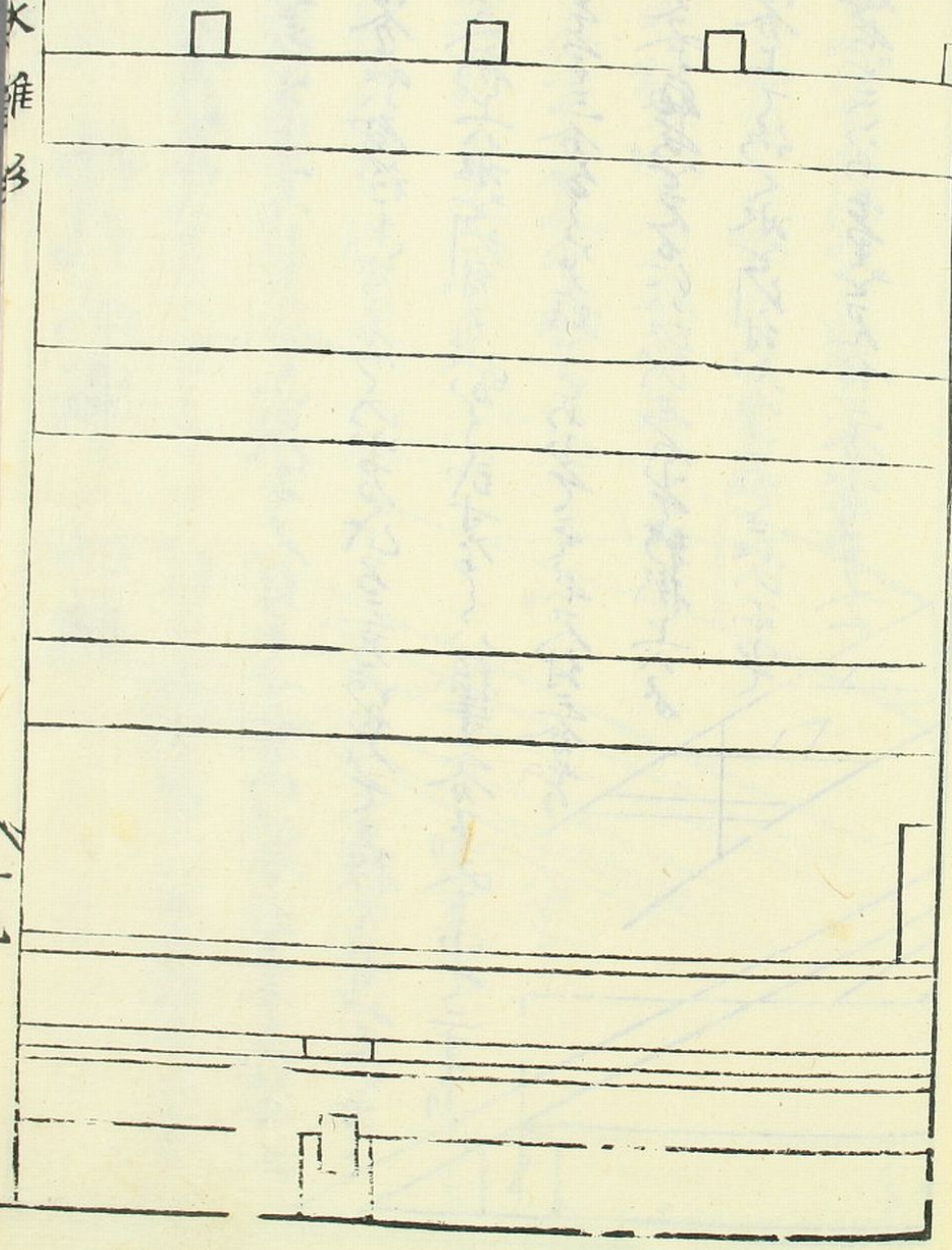
地凡^{くふ}杉^け尾^び付^つ二^に樽^{たる}見^み換^か

天^{あま}と^との^の地^ぢ二^に樽^{たる}見^み換^かと^と寸^{すん}の^の管^{くだ}三^{さん}間^ま深^{ふか}なる^の六^{ろく}寸^{すん}三^{さん}間^ま有^あり^ます^を
 三^{さん}間^ま新^{あらた}の^の管^{くだ}亦^{また}有^あり^ます^をと^と寸^{すん}の^の管^{くだ}三^{さん}間^ま深^{ふか}なる^の六^{ろく}寸^{すん}三^{さん}間^ま有^あり^ます^を
 地^ぢ凡^{くふ}杉^け尾^び付^つ二^に樽^{たる}見^み換^かと^と寸^{すん}の^の管^{くだ}三^{さん}間^ま深^{ふか}なる^の六^{ろく}寸^{すん}三^{さん}間^ま有^あり^ます^を
 半^{はん}寸^{すん}深^{ふか}なる^の六^{ろく}寸^{すん}三^{さん}間^ま有^あり^ます^を
 半^{はん}寸^{すん}深^{ふか}なる^の六^{ろく}寸^{すん}三^{さん}間^ま有^あり^ます^を

寸^{すん}の^の管^{くだ}三^{さん}間^ま深^{ふか}なる^の六^{ろく}寸^{すん}三^{さん}間^ま有^あり^ます^を



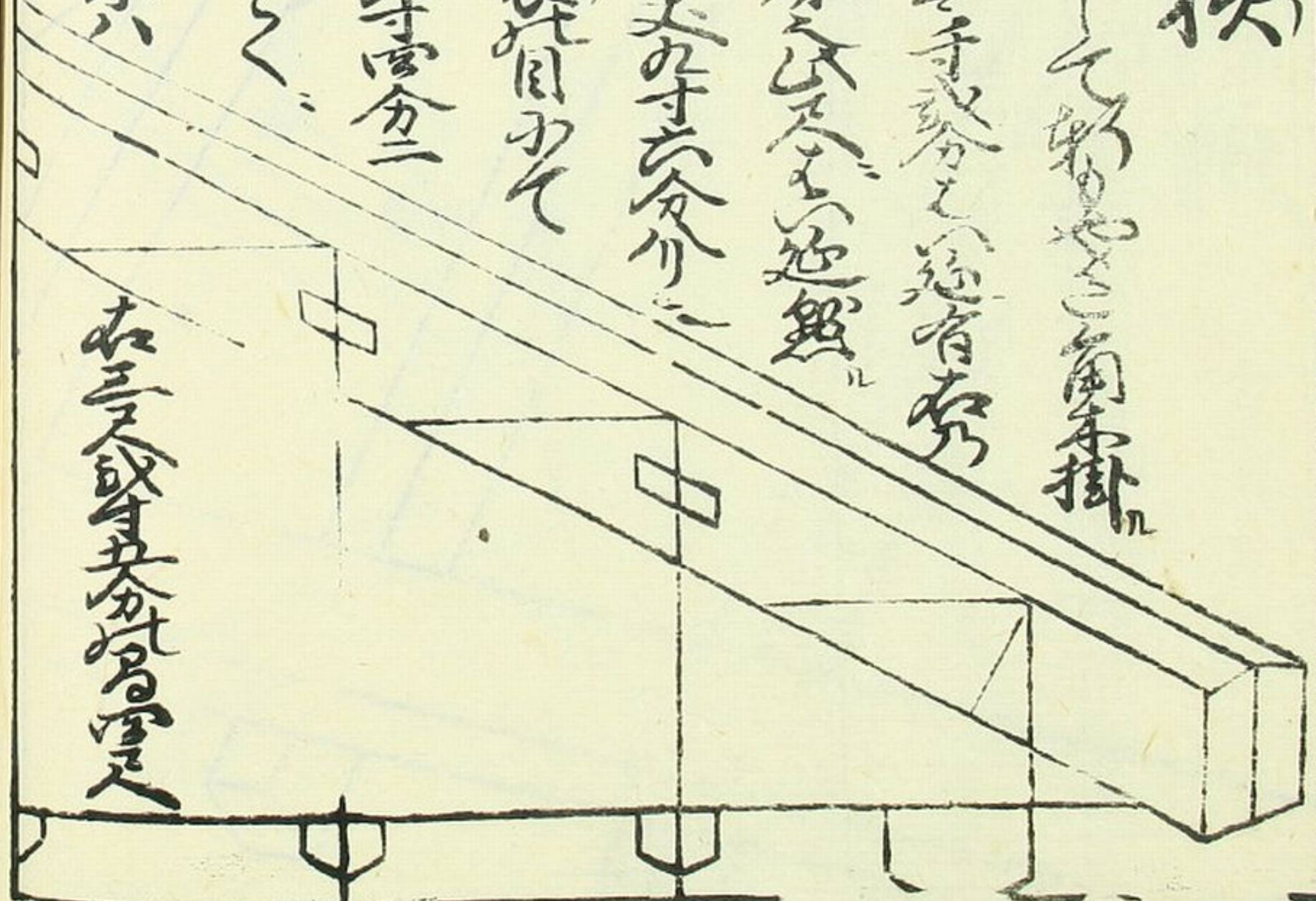
丁^{ちやう}尺^{ぶち}准^{じゆん}多^た



南木中取當換

天と六軒が三寸の木の三寸等分の一と軒也と南木掛
 時定屋縁守を分たしあふべき又付守分と延有
 三寸五分と又二寸五分二寸五分と寸五分は五分の延然
 八寸五分又南木延取守分八寸五分と寸五分の
 又南木と寸五分は一寸五分と寸五分と寸五分
 二寸八分二寸五分南木二寸五分八寸五分寸五分
 五寸八分南木三寸五分と寸五分と寸五分と寸五分
 掛合南木延取寸五分と寸五分と寸五分と寸五分

右三寸五分其分當定



の寸八分半と上寸五分寸五分を五寸五分南

外八分半と寸五分寸五分寸五分寸五分の
 後、新の寸五分寸五分寸五分寸五分南木

水光同と寸五分寸五分寸五分寸五分
 本寸五分寸五分寸五分寸五分寸五分

交通屋縁寸五分寸五分寸五分寸五分
 又同寸五分寸五分寸五分寸五分寸五分

同取指寸五分寸五分寸五分寸五分寸五分
 七寸五分寸五分寸五分寸五分寸五分

井上後内、寸五分寸五分

中中寸五分寸五分寸五分寸五分寸五分

葉上水と寸五分寸五分寸五分寸五分寸五分

寸五分寸五分寸五分寸五分寸五分寸五分

寸五分寸五分寸五分寸五分寸五分寸五分

寸五分寸五分寸五分寸五分寸五分寸五分

寸五分寸五分寸五分寸五分寸五分寸五分

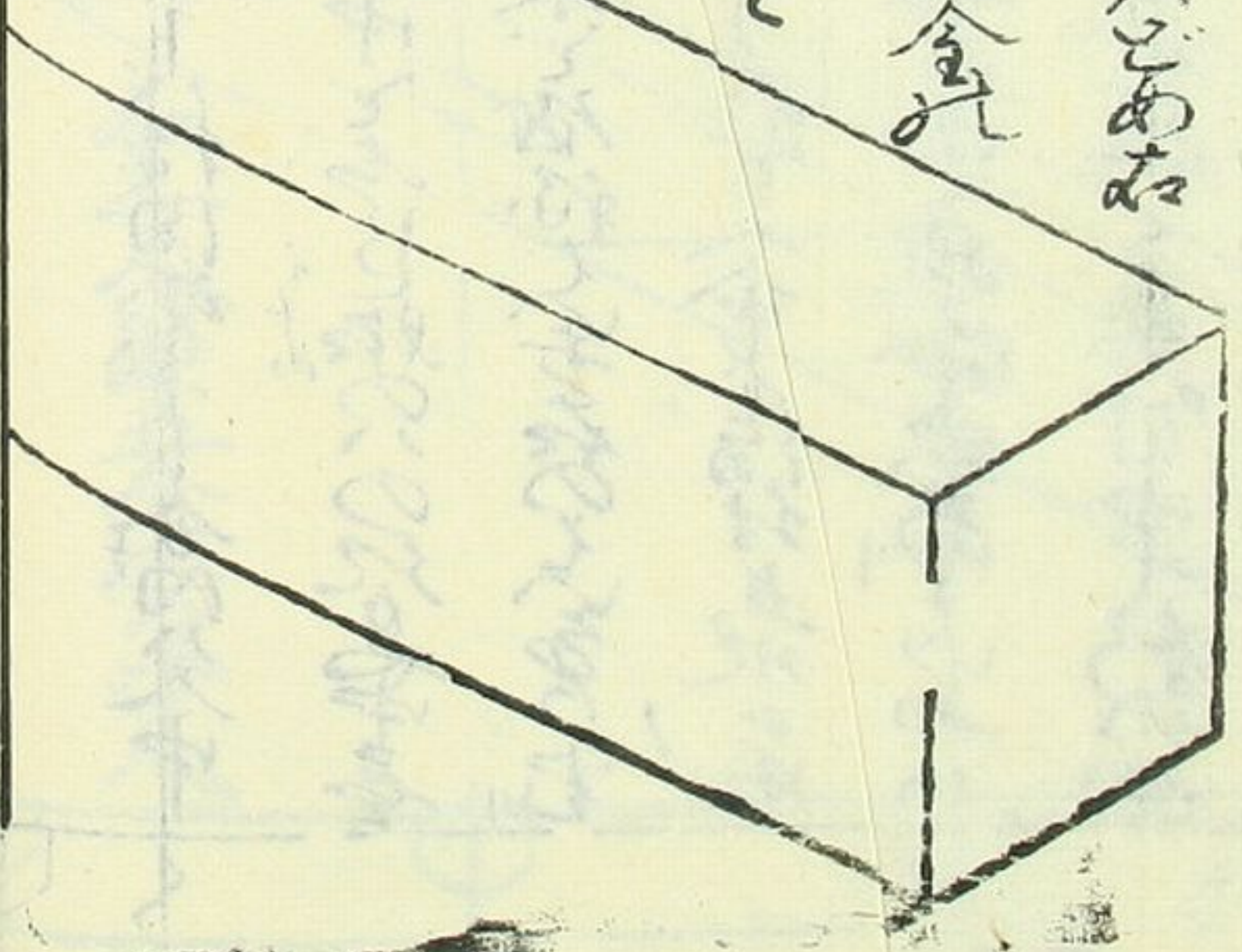
寸五分寸五分寸五分寸五分寸五分寸五分

寸五分寸五分寸五分寸五分寸五分寸五分

元七〇七二七五七〇二二ノ寸を分れたの時三寸五分七厘九毛の寸ノ南木
尙時ノ妻村同をノ寸を分の二寸五分ノ寸

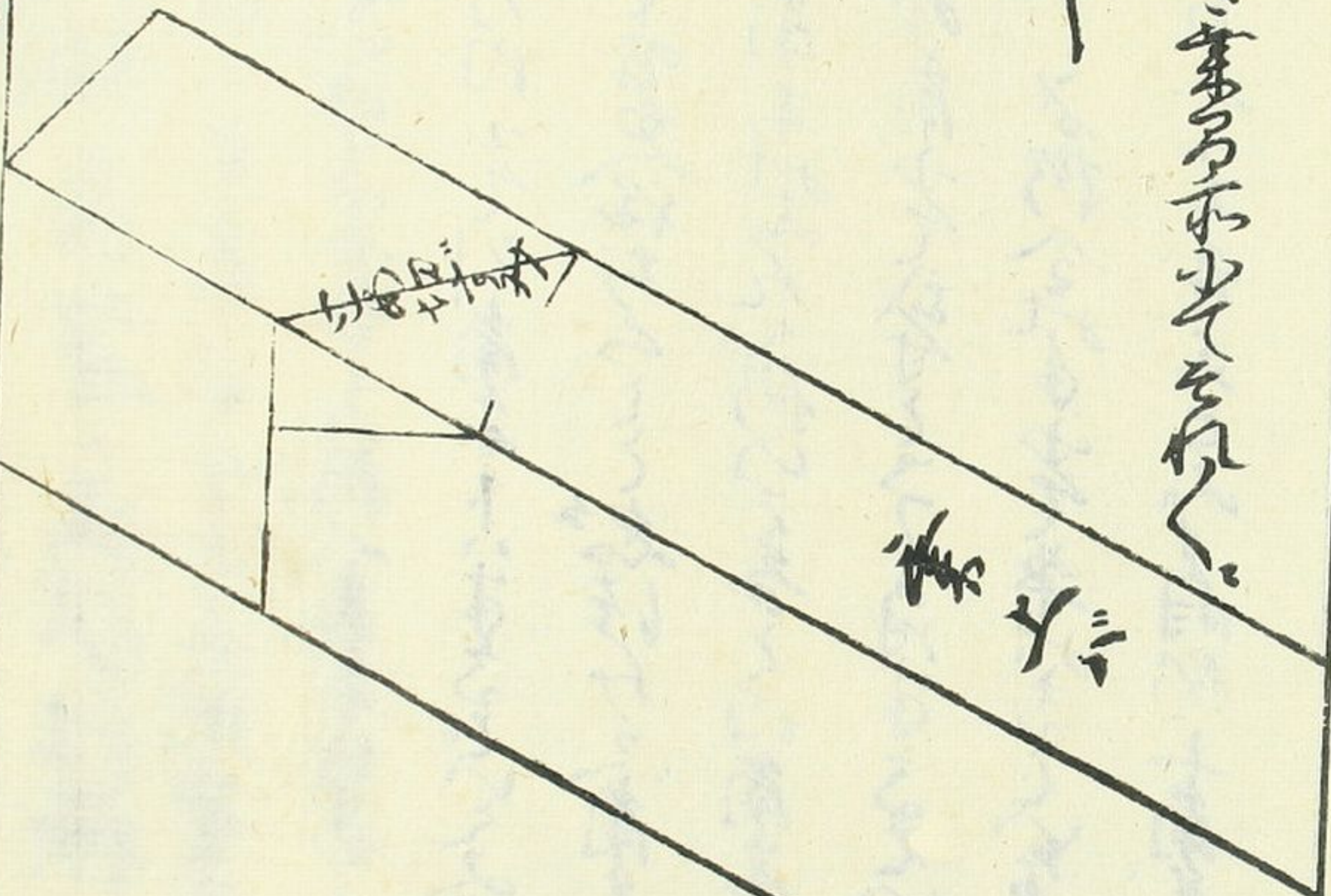
一乗ノ寸南木ノ寸付仕換

一たとノ寸南木ノ寸付すノ先五水ノ寸付して六寸五分
五水ノ寸付す下ノ寸付す六寸五分付ノ五水ノ寸付
是レテ二寸付すノ寸付す六寸五分付ノ五水ノ寸付す
勿リ下ノ寸付すノ寸付す六寸五分付ノ五水ノ寸付す
七寸五分付すノ寸付す六寸五分付ノ五水ノ寸付す
南木ノ寸付すノ寸付す六寸五分付ノ五水ノ寸付す



乃反下ハ少クノ寸付すノ寸付す六寸五分付ノ五水ノ寸付す
反付テナ

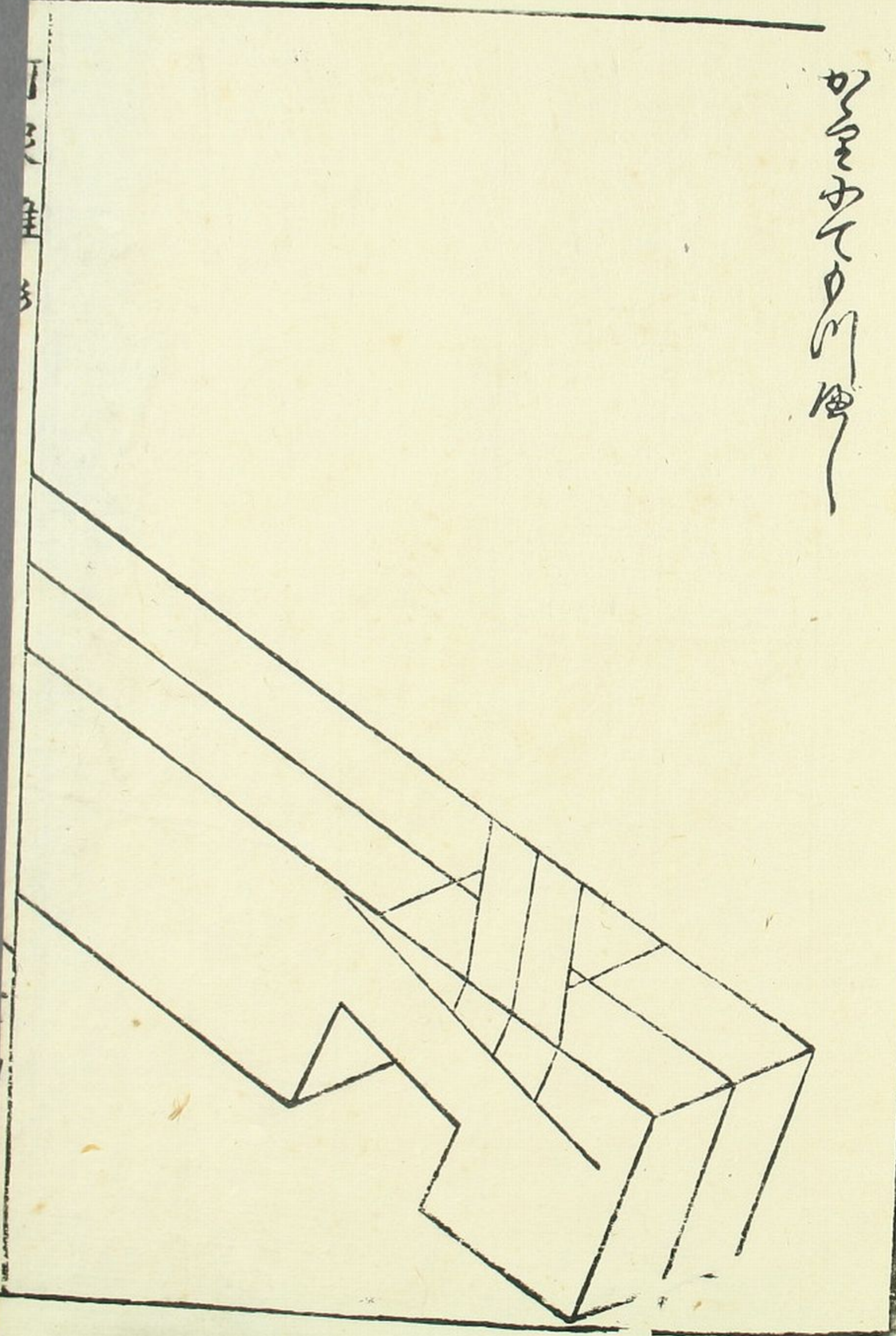
ナ

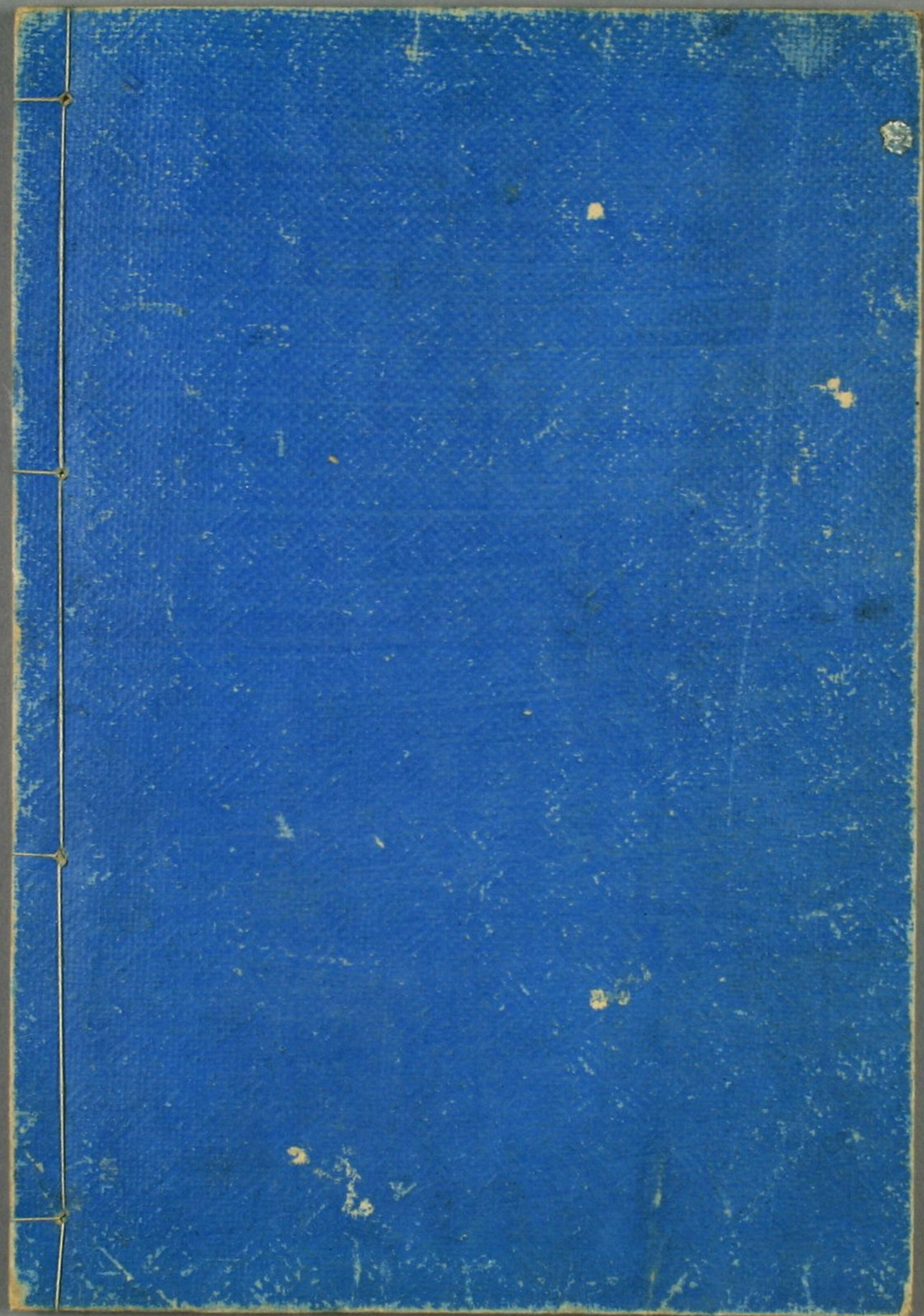


杉組南合せと並び仕換

一左と右の組は、南本おちかきある杉、杉高組、杉組と、南合せ
 軍家合せ、せい寸、半分、杉、南本、或寸、から、杉の、杉、南、して、二寸
 杉の、せい、せい、乃、内、少、し、南、本、下、は、ま、さ、ど、い、く、杉、組、で、ま、さ、る、い、お、り
 ま、り、り、か、お、ち、有、杉、杉、ら、く、と、お、ぼ、け、の、南、本、お、ち、か、き、杉、の、外、南
 組、南、本、と、南、本、は、ま、り、杉、の、外、南、本、は、か、く、中、う、ら、杉、少、し、て
 一、分、の、外、南、少、し、或、寸、と、一、寸、は、ま、さ、ど、い、く、杉、が、杉、杉、の、
 外、南、本、外、す、し、杉、全、は、ま、り、平、本、ま、り、上、て、お、ち、か、き、の、又
 杉、杉、お、ち、か、き、を、平、本、ま、り、上、て、杉、上、南、ま、り、一、分、の、外、南、本、お、ち

かきおてのし





浪華 十一堂著述

番匠町家雛歌完

浪華より匠家使用の書教編予 蕨板をり能
とと角割の法とよふ事と前より十一堂のま
多年毛と字もよりり人より紙類とらん予いり
写て口もよもおて二巻よりて響くともなりぬ